出版ダイジェスト

社団法人 出版梓会　出版ダイジェスト　http：//digest-pub.net
毎月3回（1日・11日・21日）発行　購読料1ヵ年＝送料共1,575円（税込）　郵便振替00190-3-95516
〒101-0052　東京都千代田区神田小川町3-28-13ラフィネお茶の水805　電話03-3292-2323　FAX03-3292-2325

【本号の内容】２・３面〈江戸の全集〉その庶民生活をたずね、未来の糧とする／４・５面〈農の全集〉農が国の総体を支えるという矜持／６・７面〈中国の全集〉日中交流の軌跡をたどり未来を拓く／８・９面〈食の全集〉地域に根ざした食環境が暮らしをつくる／10面〈医の全集〉身体と精神の関わりの総体を扱う生命科学

江戸・農・中国・食・医　農文協の全集

「あのころの日本」が詰まっています

作家　中島　梓

素朴で真面目で働き者の「本当の日本」の暮らし

相変わらず私はつらつらと農文協の「日本の食生活全集」を読んでいて、もうすっかり読んだものですから、再読というより、「目をさらしている」といった感じなんですが、これは私の朝ご飯のお供なので一生こうやってるだろうなと思う（笑）。あまりに大部なのでいったん事務所の本棚に預けたのですが、それからやっぱり読みたくなって全部ひきとり、かわりに「世界の神話」大全集を預けました。そっちはまったく読んでないんですよねえ。ま、資料としてはなんかあったら読もうと思ってますが……で、その「＊の食事」ってやつを読んでいると（いまはちょうど「千葉の食事」編です。船橋とか出てきて、葛飾生まれの私には楽しい）質実剛健といおうか、来る日も来る日も、漁師やお百姓をして働いている素朴で真面目で働き者の「昭和初期の日本人の暮らし」がまざまざと立ち上がってくるんですね。食べ物のやりくりに苦労し、頭を使い、保存食作りにせいをだし、忙しくて何の娯楽もない働きづめの毎日のなかで、「ちょっとでも変わったおいしいものを作って家族に喜んでもらおう」とする人々の暮らしが。子供を生み育て、ひたすら働き、たまの暮れ正月や祭りやお盆にもちや白いごはんを食べるのが最大の楽しみである人々。自分の食べるものは全部自分の手で作る人々。最初にこのシリーズを読んだとき、「大阪の食事」や「東京の食事」にコロッケや洋食や外食が出てくることに瞠目し、それと「青森の食事」「秋田の食事」なんかの同時代の話とは思えないような地域差にも目をみはったものですが、何回か通して読んでいるうちに、食生活のどうこうというより、そこに生き生きと描き出される「その人たちの暮らし」に魅せられてしまった、というのが、何度も何度もくりかえし読んでいる最大の理由です。ここで聞き書きの対象になっているおばあちゃんたちは昭和初期に娘さんだった人たちですから、いまではもう亡くなっている人が大半でしょうし（このシリーズは1980年代中ごろから93年にかけて出されたものなので12、3年前の本ですし）生きていたとしても大変な高齢でしょう。90歳、100歳といったことになってるに違いないわけで、でもその記憶のなかにある「日本」というのは、確かに存在した「本当の日本」だなあ、という感じがするんですね。この全集は本当に「買ってよかったなあ」と一番思った本のひとつで、いまは昭和30年代のテーマパークとかが流行ってますけれども、この全集を読んでいると、「ああ、日本というのは、こういう人たちの暮らしている、こういう国だったよなあ」とつくづく思います。そして、電化され、けばけばしくなり、欲望が激しくあおりたてられるばかりの「現代」というのは、まったく「進化した」んじゃない、逆におそろしく退化したんだ、ということを思い知らされる気がするのです。

おかいさん（茶がゆ）を炊く（奈良県当麻町）

秋の朝食（里芋入りの麦飯、みそ汁と煮豆、漬物。栃木県上河内村）

快適と欲望の代償に失ってしまったもの

確かにね、技術的にも環境的にもいろいろとあらたに進歩したり開発されたりしたものはあるんでしょうね。でも肝心かなめの「人間性」は恐ろしく低下している。教養も、人間としての徳とか志とか、品位とか、そういうものもみんななくなってしまい、本当に亡国、という感じになってしまった。まあアメリカから一夜にして120通ものエロとディスカウントとバイアグラと薬物を売りつけるDMがくるんだから、日本ばかりじゃない、アメリカだってそうなんでしょう。全世界的にそういう傾向はあるんだろうと思うけれど、逆に、貧しい国や後開発国のなかには、多々問題はあるでしょうけれど、たぶんまだ、「昭和初期の日本」にあったような「素朴さ」「朴訥さ」「人間らしさ」のほうは残っているのではないかなあ、と思ったりする。いまの日本の、ネットでひとの作品をパクったり掲示板で匿名の罵言を書いたりしている若い者たちに教養だの、徳だの、人間性だの、というだけムダみたいなすべてが「そちらの方向に向かっている」なあというのは日に日に切実に感じることで、あと50年したら日本がどうなっているかなんて、見ないですむのが幸せというものかもしれないなあ、という気はします。まあ国というものはそう簡単につぶれるものじゃないんだから、50年たったってそれなりになんとか続いてはいるんでしょうけれど、それはもう、私の愛した祖国とは似ても似つかない名のみの日本だろうなあ、と。

「日本の食生活全集」の中には、テーマパークよりもずっと多くの「あのころの日本」が詰まっています。池波正太郎さんのエッセイにもたくさん登場する「あのころの日本人」たち。みんな、どこへいってしまったのだろうなあ……と思いつつ、スパムメールを削除し、更新日記を更新し、「日本の食生活全集」を開いて朝ご飯の友にする私は、たぶん、「古い種族の最後」のグループのうちのひとりなのかもしれませんねえ。携帯も使い、パソコンなしでは生活できないですけれど、それでも私は「やっぱり、何にもない昔の日本のほうが幸せそうだったなあ」と思わずにいられないのです。むろん実際にそこへタイムトリップしたら不便で、寒くて、快適でなくて大変なことはわかっていますけれどね。快適と無制限に欲望を満たす欲望の代償に私たちが失ってしまったものははかり知れず大きいような気がします。

もちろん全部が全部そうじゃない」のは当たり前でもしそうだったら本当に日本は滅びてますけれど、でもなんか、じわじわと日本の気がしますし、「もちろ

今年も開催！ 出版界挙げての本の祭典

東京国際ブックフェア2005

7月9日（土）・10日（日）10時～18時、会場・東京ビッグサイト／農文協は今年、創立65周年記念として、「農文協出版史」「自然と人間を結ぶルーラルネットワーク」など企画展示。もちろん、農文協の出版物も多数展示販売。本紙読者には招待券を進呈（一般入場料1200円）。請求は葉書で「農文協DG⑥招待券」係へ。（写真は昨年の農文協ブース）

併催イベント「地域に根ざした食農教育ネットワーク・設立記念フォーラム」／7月9日11時～17時、一般参加費1000円、記念講演・内山節、お問い合わせ、お申込みは、農文協文化部またはHPで。

地域に生きる　農工商連携で未来を拓く　農林水産省東北農政局企画、東北地域農政懇談会編著　農工商の業種の壁を取り払い、地域資源や異質な情報に気づき、集積・交換し、新しい地域経済＝一地域という業態を創造する多様な営みを報告。●1700円

農業と環境汚染　西尾道徳著　豊富なデータで日本と欧米の汚染の実態と政策、技術を比較。環境保全型農業の可能性を具体的に提案。●4500円

山村環境社会学序説　大野晃著　30年に及ぶ豊富な実態調査に基づき、山村の危機と、山―川―海とつながる流域社会圏を範域とした再生の道を探る。現代山村の限界集落化と流域共同管理●4800円

社会園芸学のすすめ　松尾英輔著　今、大きく広がる園芸の意義と役割。園芸に惹かれる人の心に迫り、園芸による幅広い社会福祉の実現を提案。環境・教育・福祉・まちづくり●2500円

農文協　東京都港区赤坂7-6-1（価格税込）　☎03(3585)1141／FAX 03(3589)1387　http://shop.ruralnet.or.jp/

日貿出版社　電話(03)3295-8411代表　Fax(03)3295-8416

季刊 水墨画 111号　多数の描法、新人作品などの特集と風景画や人物画も。

憧れの山河　水墨で描く◉打矢 憲著　ふるさとの鳥海山、北アルプス、黄山、ヒマラヤなど名峰の雄姿。2625円

大和路　水墨で描く◉久山一枝著　季節や時間を追った寺院とその周辺は原風景。懐かしさとほかしさ。2625円

光と風と音　水墨で描く◉藤原六間堂著　水墨画の精神性を能野路、自然の輝き、風景との対話の三部構成で。2625円

花鳥画を描く　描法特集　1575円

おりがみ新発見1　笠原邦彦著　非対称の形　半開折り・回転折り・意欲的に追求。1890円

円龍のそば行脚　三遊亭円龍著　落語家が選んだ東京23区のそば屋308店。1890円

〈価格は税込み・送料各300円〉　〒101-0064 東京千代田区猿楽町1-2-2　http://www.nichibou.co.jp/

「この本を読んでから叱る気になれなくなった」と大反響

お母さんはしつけをしないで　東海女子大学教授　長谷川博一

［3刷出来］少子時代のしつけは「支配」であり、いじめも不登校も非行も「しつけの後遺症」だと説く。お母さんは手を抜いたほうがいいんですよと呼びかける、目からウロコが落ちる本。定価1365円

草思社　渋谷区千駄ヶ谷2-33-8　☎03(3470)6565　http://www.soshisha.com/　税込価

東京書籍　〈http://www.tokyo-shoseki.co.jp〉

緑・花文化の知識認定試験 公式全問題集 平成17年度版　今注目の認定試験。公式ガイドと過去問題（平成16年）解答・解説が一冊になった最新版！　（財）公園緑地管理財団著　1995円

家族で楽しむ科学のシリーズ　やってみよう化学　やってみよう天文　やってみよう食べもの　米国で百万部突破。で自由研究に最適。ノーベル賞の小柴先生絶賛の実験書！　小柴昌俊監修　ジャニス・ヴァンクリーフ著　結城千代子＋田中幸訳　各1785円

東京都北区堀船2-17-1〒114-8524　TEL03-5390-7531　FAX03 5390 7538（価格税込）

辞書は三省堂

新明解国語辞典 第六版　大反響！　山田忠雄（主幹）・柴田 武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄［編］シャープな語釈、実感あふれる用例。日本で一番売れている国語辞典の全面改訂版。収録項目数7万6千5百。「運用」欄を新設。副詞項目を全面的に見直し、「基本構文の型」を拡充。通用アクセントを明示。便利な「かぞえ方」欄、豊富な「表記」欄。2色刷。●並版・特装版各3,045円・革装4,725円（B6変型）／小型版2,835円（A6変型）／机上版4,410円（A5）

東京都千代田区三崎町 2-22-14　http://www.sanseido.co.jp/（税込）